

事業リスト【「暮らし」の柱】

目指す姿	重点施策	事業	
		事業名	事業内容
市民の『暮らし』 市民がみな、「川との共生」という原点に回帰し、常総だからこその日々の暮らしを堪能している。	水辺の安心と魅力を高める	拠点となる水辺公園の整備	既存の魅力ある水辺をさらに活かす整備を進める。遊歩道、物産品販売所、桜つつみの鑑賞路、アクセス路、駐車場等の整備を行うとともに、投棄物対策を行い、現存の資源を保全しながら、見やすい案内板等を増やす。
		河川敷・土手道散歩道の整備	それぞれの河川の上流、下流自治体と連携しながら、鬼怒川や小貝川、八間堀川等に沿って散歩やサイクリングができる連続した土手道等を整備する。併せて、例えば市内に多く住むブラジルの方々との交流を深めるため、ブラジルの国花・イペー等の並木道を整備する。
		河川クリーンプロジェクト	現在行っている河川敷の清掃のイベントをより効果的に進めるため、花火大会等のイベントに向けての清掃、国際交流イベント、小中高校生のワークショップ等と絡めて実施する。
		水質浄化の推進	植生浄化、礫間浄化等の水質浄化法を最大限に活用・実践し、鬼怒川・小貝川・八間堀川を中心として市内の河川の水質を浄化する。昔のように子供が泳ぎ、鮭や鮎が泳ぐ姿を目指す。
	被災者の心のケアをする	カウンセラー等の派遣	児童生徒、保護者、教職員の心のケアのために、小中学校に臨床心理士等を派遣し、組織的・継続的な支援を行う。また、市適応指導教室に教員経験が豊富な教育相談員や心理カウンセラーを配置する。それらを行うため、筑波大学医学医療系や茨城県立医療大学等の県内の大学等との連携も視野に入れる。
		市民のふれあい促進	ボランティアやNPO、大学と連携して、空き家等を活用した交流拠点の整備を行い、被災者が楽しみ、ふれあいのある暮らしができるよう支援する。子育てをする母親等が気軽に集える場を設け、防災や市内行事などの情報を入手できるようにする。
		地域包括ケアシステムの構築	より一層の高齢化、認知症高齢者の増加が予測されるなか被災者の心のケアのみならず、介護が必要な状態になっても住み慣れた地域で暮らし続けられるように、介護だけでなく、医療や予防、生活支援、サービス付き高齢者向け住宅等の住まい等を包括的に提供するための地域包括ケアシステムを構築する。
	まちを学び、川に学ぶ	小学校社会科副読本の活用	小学校の社会科学習や総合的な学習で活用されている、常総市の歴史、地域の生活や産業(農業・商業・工業)、公共施設等の利用等に関する内容をまとめた副読本「わたしたちの常総市」を活用し、災害の記憶や災害に対する備えについて再確認し、かつ地元や地域を愛する気持ちを育てる。
		「かわまち」の歴史教育	常総市は水運で栄えた歴史を持つ。伝統ある商家や古老の話、神社仏閣や地名の由来などを掘り起こし、書籍や看板により市民や来訪者に意識されるようにする。水海道河岸跡を整備する。
		歴史展覧会	常総市の歴史や河川・水資源に関する教育機会の提供のため展覧会を開催する。これまでの災害等にかかる歴史を学ぶことで、いざという時に行動できる知識を蓄える。
		水防学習館の設置	川との共生、防災教育、災害経験の伝承をテーマとする水防学習館及び防災アーカイブを設置する。
	川を楽しみ、健康になる	健康イベントの実施	河川の上・下流自治体と連携しながら、比較的距離が短い鬼怒川東側堤防等を利用して、ウォーキングイベントを開催する。また、上下流に距離のある小貝川堤防等を利用して、サイクリングイベントを継続的に開催する。
		スポーツ・コンテンツの開発と実施	川を利用したスポーツ・コンテンツ(ボート・カヌーなど)を開発し、実施する。筑波大学体育系と協働し、川を楽しみながら健康になる常総市ならではのコンテンツを生み出す。さらに、中学校高校等において川を活用した部活動・課外活動を推進する。
		小貝川三大堰を巡り楽しむ健康づくり	常総地方観光促進協議会(つくばみらい市、守谷市、取手市、常総市)で作成した「小貝川三大堰を巡る歴史ウォーキングマップ」を活用し、4市で連携して、自然に親しみながら行う健康づくりのためのウォーキングイベントを実施し、広域的な観光を促進する。
	水害経験を資源に転じる	水害復興駅伝・マラソン大会	水海道地区・石下地区の中心市街地を市内外の小中学生で襷を繋いで走る。将来的には、常総市全体を舞台にマラソン大会を実施し、まちににぎわいを取り戻すきっかけとするとともに、復興機運の維持・高揚をねらう。
		復興プロスポーツイベントの誘致	さまざまなプロスポーツの大会等を水害復興祈念大会として誘致し、水害経験を継承しながらプロスポーツ選手と触れ合う機会を創出する。また、常総市の社会体育施設の指定管理者であるミズノグループと協力して、スポーツが盛んな街として市内外へ発信していくことで、常総市の魅力を向上させる。
「縁結び」の推進		今回の災害では、全国各地のさまざまな方々に支援を受けた。この縁も生かし、さまざまな地域や国との交流を行う。例えば、常総市の資源を生かした農業体験やサマーキャンプ、特産物の流通などを推進する。	
水害学習ツアー		常総市や観光物産協会、関東鉄道、大学生などと連携し、市外の方が常総の災害を学ぶツアーを実施する。その際に、レンタサイクル等の事業を拡大するとともに、市内のお勧めの店舗やお土産等の情報を発信することで、観光振興にも寄与する。	
「映画を作ろう！」		常総市は映画撮影地として有名であることを活かし、川や水資源などをテーマにした自主映画の撮影を募り、支援する。	
常総市復興祈念「関東鉄道スリーニン」		関東鉄道の貸切列車内で演劇を実施する。常総市をテーマに沿線の風景とともにストーリーを展開させ、地域の魅力、復興をPRする。公演後は市街地を散策し、地元の名産やグルメを楽しむ。また、車内演劇、散策等に地元出身の著名人に協力を依頼し、集客力や話題性を高める。	